

温室効果ガス排出量検証報告書

富士通株式会社 御中



BUREAU
VERITAS

2019年6月28日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、富士通グループ サステナビリティデータブック2019において富士通株式会社(以下、富士通)により報告される2018年度の温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

富士通はビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量

- ・富士通及び国内グループ会社31社、海外グループ会社18社の事業活動に伴う、2018年4月1日から2019年3月31日の期間におけるエネルギー起源CO₂排出量
- ・半導体製造を行う富士通グループ国内3拠点の事業活動に伴う、2018年4月1日から2019年3月31日の期間におけるHFC、PFC、SF₆、NF₃排出量

2) GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standardに基づいて算定及び報告されたスコープ3 排出量のうち、カテゴリー1, 4, 11の排出量。但し、各カテゴリーにおける算定範囲は富士通の決定に基づく。

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のある富士通の関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、富士通の情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・富士通が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ1	スコープ2	スコープ3
147 kt-CO ₂ e	808 kt-CO ₂ e (ロケーション基準) 771 kt-CO ₂ e (マーケット基準)	5,515 kt-CO ₂ e

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリー1: 1,840 kt-CO₂e | カテゴリー4: 27 kt-CO₂e | カテゴリー11: 3,649 kt-CO₂e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に190年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、富士通とのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。